

研究会開催のご案内

研究会代表 安永 悟
(久留米大学文学部)

桜鯛の季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。年度初め、皆様お忙しいことと思います。当方、例年以上の忙しさに、四苦八苦している最中です。

さて、5月9日（土）に予定していました「授業づくり研究会」の内容が決まりましたので、ご案内いたします。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

参加を希望される方、安永研究室のホームページから、参加申込をお願いします。むろん、これまで同様、当日参加も受け付けます。案内が直接届いていない方も大歓迎です。皆様とお目にかかれることを楽しみにしています。

研究会の後、懇親会を予定しています。こちらは準備の都合がありますので、参加希望の方は、期日までに必ず連絡をお願いします。

記

1. 日時：2015年5月9日（土） 13時～17時まで
2. 場所：久留米大学御井キャンパス 学生会館ミーティング＝ルーム3
3. 参加資格：協同教育(学習)に関心のある方
4. 参加申込：安永研究室のHP (<http://yasunaga.me/wiki.cgi>) からお願いします。
(注意) HPからの申込に対して、当方からの返信はありません。返信が必要な方は、申込時にその旨を記入してください。
5. 研究会の内容
 - (1) 挨拶・導入（担当：安永 悟・久留米大学）（45分程度）
 - a. 研究会への導入と、協同学習に関する最近の動向などを紹介します。
 - b. 簡単なグループづくりと協同学習に関する基本事項の確認も行います。
 - (2) 報告「活動性ととも理解の向上を図る」（60分程度）
 - a. 報告者：西田佳代 先生（鹿本医師会看護学校）
 - b. 内 容：昨年度の「熊本県看護教員継続教育研修会」に参加された西田先生が取り組まれた実践の報告です。1年生対象の「排泄」をテーマとした

授業の活動性を高め、同時に理解も深めるために、これまで試みた協同学習に基づく創意工夫を紹介していただけます。

(3) 報告「協同学習で英語苦手意識をもつ学習者のモチベーションを高めよう！」
(100分程度)

- a. 報告者：土屋麻衣子 先生（福岡工業大学）
- b. 内容：土屋先生の実践報告です。ご報告いただく内容は次の通りです。
 - ①英語に苦手意識を持つ学習者のデモチベーション要因と協同学習
 - ②モチベーションを高める授業の構成要素と協同学習
 - ③協同学習を取り入れた授業の紹介（ビデオ）
 - ④協同学習を取り入れた授業の効果

(注意) それぞれの報告内容は、準備の過程で多少変更になることもあります。
予めご了承ください。

6. 懇親会のお知らせ

研究会終了後、西鉄久留米駅界隈で懇親会を予定しています。会費は3,500円前後の見込みです。参加希望者は、4月30日（木）までに、安永研究室のHPから申し込んでください。連休が入るため、少々早めのめ切にさせて下さい。

7. 問い合わせ先

ご不明な点があれば、下記までお願いします。

安永悟 yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp

以上